

2018年10月9日

「2018年世界柔道選手権大会」で新井千鶴選手が金メダル！

男女混合団体戦で日本代表チームが金メダル獲得！

9月24日（月）、アゼルバイジャン・バクーで開催された「2018年世界柔道選手権大会」（9月20日～9月27日）に、当社女子柔道部（監督：柳澤 久）の新井千鶴選手（70kg級）が日本代表として出場し、2連覇を果たしました。

また、27日（木）に開催された男女混合団体戦には、玉置桃選手が出場し、日本代表チームの優勝に貢献しました。

【大会結果詳細】※IJF（国際柔道連盟）ランキングは大会出場時点⇒現時点です。

新井千鶴選手（70kg級／IJFランキング6位⇒2位） [金メダル](#) [2連覇](#)

3大会連続出場となった新井選手は、初戦（2回戦）を合技で一本勝、3回戦は延長戦の末に出足払いで優勢勝、準々決勝では浮落で優勢勝、準決勝では大内刈で一本勝し、決勝へ進出しました。

決勝では開始早々に技有を取られるも、合技一本で逆転し、優勝を飾りました。

70kg級の日本代表選手としては、当社女子柔道部の上野雅恵コーチ以来15年ぶりの世界柔道選手権大会2連覇となりました。

男女混合団体戦 [金メダル](#) [2連覇](#)

6人制の団体戦（女子57kg級以下、男子73kg級以下、女子70kg級以下、男子90kg級以下、女子70kg超級、男子90kg超級）は19カ国が出場し、全4戦を勝ち上がり、優勝しました。

玉置桃選手は初戦（2回戦）と準々決勝に選出されました。初戦は日本代表チームが先に4勝したため、玉置選手の出場はありませんでしたが、準々決勝は合技で一本勝し、団体戦の金メダル獲得に貢献しました。

以上



決勝の合技一本（新井選手）



団体戦準々決勝（玉置選手）



二連覇を飾った新井選手（左から2人目）



男女混合団体戦 日本チーム2連覇！